

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
29-33	高等学校	外国語	英語表現 II	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
212 桐原	英 II 333	EMPOWER English Expression II Mastery Course		

1. 編修の基本方針

教育基本法第 2 条の目標を達成するため、題材および言語活動の内容は、生徒の発達段階を考慮しつつ、個人の成長に資するだけでなく、個人と社会の相互補完的な関係について考える機会を設けるものを選定した。

2. 対照表

	図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Part I	Lesson 1 Let me introduce myself	自己を紹介する活動を通じて、個人の価値を尊重するとともに、自己の能力を伸ばし、自主及び自律の精神を養う。(第 2 号)	10～11 ページ
	Lesson 2 A trip to Okinawa	旅行で経験したことを述べる活動を通じて、幅広い知識と教養を身につけようとする態度を養う。(第 1 号)	12～13 ページ
	Lesson 3 Cherry blossom viewing from a boat	自分が参加した行事について述べる活動を通じて、幅広い知識と教養を身につけようとする態度を養う。(第 1 号)	14～15 ページ
	Lesson 4 Active aging	高齢社会を背景に、お年寄りとお若者がよい関係を築くための意見を述べる活動を通じて、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養う。(第 3 号)	16～17 ページ
	Lesson 5 Interesting restaurants and foods: Thai dishes	外国の料理や料理店について述べる活動を通じて、幅広い知識と教養を身につけようとする態度を養う。(第 1 号)	20～21 ページ
	Lesson 6 I'll introduce our classmates and teachers	友人を紹介する活動を通じて、個人の価値を尊重するとともに、自己の能力を伸ばし、自主及び自律の精神を養う。(第 2 号)	22～23 ページ
	Lesson 7 Come and enjoy our school events!	学校や地域の行事の告知文を書く活動を通じて、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養う。(第 3 号)	24～25 ページ
	Lesson 8 I'll apply for a homestay program	海外でのホームステイについて述べる活動を通じて、幅広い知識と教養を身につけようとする態度を養うとともに (第 1 号)、他国の文化を尊重し、国際社会の発展に寄与する態度を養う。(第 5 号)	26～27 ページ

	Lesson 9 Visit a World Heritage Site!	日本や外国の世界遺産や観光名所について述べる活動を通じて、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うとともに（第 4 号）、自国と他国の伝統と文化を尊重し、国際社会の発展に寄与する態度を養う。（第 5 号）	28～29 ページ
	Lesson 10 Think about your future careers	自分の将来の仕事について述べる活動を通じて、自主及び自律の精神を養うとともに、職業との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養う。（第 2 号）	32～33 ページ
	Lesson 11 Reading graphs and charts	健康的な生活を送るために必要なことを述べる活動を通じて、健やかな体を養う。（第 1 号）	34～35 ページ
	Lesson 12 Get well card to our teacher	友人、家族、先生などにグリーティングカードを書く活動を通じて、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う。（第 3 号）	36～37 ページ
	Lesson 13 The book I would like to recommend	自分の好きな物事について述べる活動を通じて、個人の価値を尊重するとともに、自己の能力を伸ばそうとする態度を養う。（第 2 号）	38～39 ページ
	Lesson 14 Welcome to my hometown!	自分の住む町を紹介する活動を通じて、伝統と文化を尊重し、郷土を愛する態度を養う。（第 5 号）	40～41 ページ
	Lesson 15 Words have a magical power	友人、家族、先生などからかけられた心に残る言葉について述べる活動を通じて、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う。（第 3 号）	44～45 ページ
	Lesson 16 You should use smartphones and SNS wisely	スマートフォンや SNS の長所と短所に関する題材を通じて、幅広い知識と多様な物の見方を身につけようとする態度を養う。（第 1 号）	46～47 ページ
	Lesson 17 Think about globalization	グローバルゼーションに関する題材と、外国の人に紹介したい日本の文化について述べる活動を通じて、自国と他国の伝統と文化を尊重し、国際社会の発展に寄与する態度を養う。（第 5 号）	48～49 ページ
	Lesson 18 Our town's special produce	自分の住む町の名産や名所などを紹介する活動を通じて、伝統と文化を尊重し、郷土を愛する態度を養う。（第 5 号）	50～51 ページ
	Lesson 19 Join our hip-hop dance club!	自分のクラブ、クラス、学校などを紹介する活動を通じて、個人の価値を尊重するとともに、自己の能力を伸ばし、自主及び自律の精神を養う。（第 2 号）	52～53 ページ
	Lesson 20 To study abroad, or not to study abroad	海外への留学について述べる活動を通じて、幅広い知識と教養を身につけようとする態度を養うとともに（第 1 号）、他国の文化を尊重し、国際社会の発展に寄与する態度を養う。（第 5 号）	54～55 ページ
Part II	Lesson 1 The history of kabuki	歌舞伎に関する題材を通じて、伝統と文化を尊重する態度を養う。（第 5 号）	68～73 ページ

	Lesson 2 Types of mass media	メディア、音楽、映画などの分類に関する題材と活動を通じて、幅広い知識と教養を身につけようとする態度を養う。(第1号)	74～79 ページ
	Lesson 3 Similarities and differences between Japan and the U.K.	日本と外国の比較に関する題材と活動を通じて、幅広い知識と教養を身につけようとする態度を養うとともに(第1号)、自国と他国の伝統と文化を尊重し、国際社会の発展に寄与する態度を養う。(第5号)	80～85 ページ
	Lesson 4 Why don't you study abroad?	スマートフォンの普及の影響について述べる活動を通じて、幅広い知識と多様な物の見方を身につけようとする態度を養う。(第1号)	86～91 ページ
	Lesson 5 Should garbage collection be a paid service?	ごみ収集の有料化に関する題材を通じて、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養うとともに(第3号)、環境の保全に寄与する態度を養う。(第4号)	92～97 ページ
Part III	Lesson 1 What did you do over the weekend?	将来の職業や長期休暇の予定について述べる活動を通じて、個人の価値を尊重するとともに、自己の能力を伸ばそうとする態度を養う。(第2号)	108～111 ページ
	Lesson 2 I have a dream. — Martin Luther King, Jr.	キング牧師に関する題材を通じて、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んじ、主体的に社会の形成に参画する態度を養う。(第3号)	112～117 ページ
	Lesson 3 The number of Japanese students who study abroad	日本への観光客を増やす方法を述べる活動を通じて、主体的に社会の形成に参画する態度を養うとともに(第3号)、自国と他国を尊重し、国際社会の発展に寄与する態度を養う。(第5号)	118 ～ 123 ページ
	Lesson 4 Computer learning at home or learning at school?	e ラーニングに関するディスカッションを通じて、個人の価値を尊重しながら、自主及び自律の精神を養う。(第2号)	124 ～ 131 ページ
	Lesson 5 Garbage collection should be a paid service	ごみ収集の有料化に関するディベートを通じて、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養うとともに(第3号)、環境の保全に寄与する態度を養う。(第4号)	132 ～ 139 ページ

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学校教育法第51条第2号の「一般的な教養を高め、専門的な知識、技術及び技能を習得させること」を目指して、特に以下の点に留意した。

- ・さまざまな言語の使用場面を学習できるように、日記、ブログ、メール、手紙、告示文、広告文など多様な種類の英文を書く活動を設けた。(Part I の各 Lesson の Your Turn)
- ・身近な話題や社会的な話題について、まとまった内容の英文を書くことができるように、パラグラフの書き方を学習するページを設けるとともに、手順を踏んでパラグラフを書く活動を充実させた。(Part II の How to Write a Paragraph、Part II の各 Lesson の Task A、Task B)
- ・身近な話題や社会的な話題について、即興での会話、スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベートなどができるように、それらに必要な表現や手順を学習できるようにした。(Part III の各 Lesson)

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
29-33	高等学校	外国語	英語表現 II	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
212 桐原	英 II 333	EMPOWER English Expression II Mastery Course		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

- ・基礎的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを適切に活用する能力をはぐくむために、中学校や高等学校における学習内容を、平易な内容からより難しい内容へと段階的に配列した。
- ・個人の価値、伝統と文化を尊重する精神を養い、主体的によりよい社会を実現しようとする態度を養うために、自己紹介や友人の紹介、自分の住む町の紹介、日本の事物や文化、日本と外国の比較、将来の仕事、社会問題などの題材を採用した。
- ・言語や文化に対する理解を深めるために、文法や慣用表現などを適切に運用する能力を養う言語活動を設けるとともに、国内外の多様な文化を知ることができる題材を取り上げた。
- ・積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するために、生徒が自分の興味や自分の考えについて話したり書いたりする言語活動を設けた。
- ・情報や考えを的確に理解したり、適切に伝えたりする能力を養うために、以下の点に配慮した。
 - ① 生徒に身近な言語の使用場面を設定した。
 - ② 文法や慣用表現などを使って話したり書いたりする活動を数多く設けることによって、生徒がそれらの言語材料の理解にとどまることなく、コミュニケーションに活用できるようにした。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
<p>◆Part I Writing in Different Genres 日記、ブログ、メール、告知文など多様な種類の英文を書く。</p> <p>1. Lesson 1-20</p> <p>①Target 課のジャンルとトピックに沿ったモデル英文。</p> <p>②Listen Target の英文に関する True or False のリスニング問題。</p> <p>③Focus 英語を話したり書いたりするのに必要な文法の使い方を理解するための例文を示した。</p> <p>④Practice Focus で学習した文法の理解を深め、運用力をつけるための問題。</p>	<p>●「3 内容の取扱い」の(2) 聞くこと及び読むこととも有機的に関連付けた活動を行うことにより、話すこと及び書くことの指導の効果を高めるよう工夫するものとする。</p> <p>●第3款の2のイ 文構造のうち、運用度の高いもの</p> <p>●第3款の2のウ 文法事項 (ア) 不定詞の用法、(イ) 関係代名詞の用法、(ウ) 関係副詞の用法、(エ) 助動詞の用法、(オ) 代名詞のうち、it が名詞用法の句及び節を指すもの、(カ) 動詞の時制など、(キ) 仮定法、(ク) 分詞構文</p> <p>●第3款の3のイ 文法については、コミュニケーションを支えるものであること</p>	<p>10, 12, 14, 16, 20, 22, 24, 26, 28, 32, 34, 36, 38, 40, 44, 46, 48, 50, 52, 54 ページ</p> <p>10, 12, 14, 16, 20, 22, 24, 26, 28, 32, 34, 36, 38, 40, 44, 46, 48, 50, 52, 54 ページ</p> <p>11, 13, 15, 17, 21, 23,</p>	<p>40 時間 (2 時間× 20 課)</p>

<p>大問の1～3は、それぞれがまとまりのある文章や会話になっている。 大問3は、課のジャンルとトピックに沿った英作文の問題。</p>	<p>を踏まえ、言語活動と効果的に関連付けて指導すること。</p>	<p>25, 27, 29, 33, 35, 37, 39, 41, 45, 47, 49, 51, 53, 55 ページ</p>	
<p>⑤Your Turn 課のジャンルとトピックに沿って、自分自身のことを表現する活動。</p>	<p>●「2 内容」の(1)のア 与えられた条件に合わせて、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。 ●「2 内容」の(1)のイ 主題を決め、様々な種類の文章を書く。 ●「3 内容の取扱い」の(1) 話したり書いたりする言語活動を中心に、情報や考えなどを伝える能力の向上を図るよう指導するものとする。</p>	<p>11, 13, 15, 17, 21, 23, 25, 27, 29, 33, 35, 37, 39, 41, 45, 47, 49, 51, 53, 55 ページ</p>	
<p>Part I の Lesson 1-20 の各言語活動の設定にあたっては、学習指導要領の第3款の1の「言語の使用場面の例」および「言語の働きの例」から適宜選択して取り上げた。</p>	<p>●第3款の1「言語の使用場面」 a 特有の表現がよく使われる場面 b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面 c 多様な手段を通じて情報などを得る場面 ●第3款の1「言語の働き」 a コミュニケーションを円滑にする b 気持ちを伝える c 情報を伝える d 考えや意図を伝える e 相手の行動を促す</p>	<p>10-11, 26-27, 32-33, 36-37, 54-55 ページ 12-13, 14-15, 20-21, 24-25 ページなど 22-23, 46-47 ページ 32-33 ページ 36-37 ページ 12-13, 14-15, 20-21, 24-25 ページなど 10-11, 26-27, 32-33, 46-47, 48-49 ページ 24-25, 26-27, 32-33, 50-51, 52-53, 54-55 ページ</p>	
<p>2. Review Exercise 1-4 4～6 課ごとに、それまでの課で学習した文法事項を復習する問題。</p>	<p>●「3 内容の取扱い」の(3) 多様な場面における言語活動を経験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮する。</p>	<p>18-19, 30-31, 42-43, 56-57 ページ</p>	<p>8 時間 (2 時間× 4 課)</p>

<p>◆Part II Writing a Paragraph</p> <p>1. How to Write a Paragraph パラグラフの構成、パラグラフの書き方、推敲の仕方などを示した。</p> <p>2. Lesson 1-5 ①Model Paragraph 課のモデルパラグラフ。 ②Study Points 1) パラグラフを書く際の注意点 2) モデルパラグラフの構成 3) 課で学習するパラグラフ展開で用いられる表現 ③Check パラグラフの構成を確認する問題。 ④Practice パラグラフの構成や、パラグラフを書くときに用いられるつなぎ言葉や表現に関する問題。</p> <p>⑤Task A リスニングなどで得た情報をもとに、パラグラフを完成させる活動。 ⑥Task B 設定されたテーマについて、パラグラフの構成を考え、パラグラフを完成させる活動。 Can-Doとして、タスクで作成した英文を自分で確認する指標を示した。</p>	<p>●「2 内容」の(2)のイ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連、表現の工夫などを考えながら書くこと。また、書いた内容を読み返して推敲すること。</p> <p>●「3 内容の取扱い」の(2) 聞くこと及び読むこととも有機的に関連付けた活動を行うことにより、話すこと及び書くことの指導の効果を高めるよう工夫するものとする。</p> <p>●「2 内容」の(1)のイ 主題を決め、様々な種類の文章を書く。 ●「2 内容」の(2)のイ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連、表現の工夫などを考えながら書くこと。また、書いた内容を読み返して推敲すること。 ●「3 内容の取扱い」の(1) 話したり書いたりする言語活動を中心に、情報や考えなどを伝える能力の向上を図るよう指導するものとする。 ●「3 内容の取扱い」の(2) 聞くこと及び読むこととも有機的に関連付けた活動を行うことにより、話すこと及び書くことの指導の効果を高めるよう工夫するものとする。</p>	<p>60-67 ページ</p> <p>68-70, 74-76, 80-83, 86-88, 92-94 ページ</p> <p>71-73, 77-79, 83-85, 89-91, 95-97 ページ</p>	<p>6 時間</p> <p>40 時間 (8 時間 × 5 課)</p>
<p>3. How to Write an Essay エッセイの構成についての解説と、エッセイの構成についてのタスク。</p>	<p>●「2 内容」の(2)のイ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連、表現の工夫などを考えながら書くこと。また、書いた内容を読み返して推敲すること。</p>	<p>98-101 ページ</p>	<p>4 時間</p>
<p>4. How to Write a Summary エッセイの要約の方法についての解説と、要約文を作成するタスク。</p>	<p>●「2 内容」の(2)のイ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連、表現の工夫などを考えながら書くこと。また、書いた内容を読み返して推敲すること。</p>	<p>102-105 ページ</p>	<p>4 時間</p>

<p>◆Part III Lesson 1 : Small Talk スモール・トークのモデル英文やスモール・トークに使われる表現などを示した。 スモール・トークのタスクを設けた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「2 内容」の(1)のア 与えられた条件に合わせて、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。 ● 「2 内容」の(2)のア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら話すこと 	108-111 ページ	4 時間
<p>Lesson 2 : Recitation & Speech レシテーションのモデルスピーチやレシテーションの仕方を示した。 スピーチの原稿作成、実施、評価を行うタスクを設けた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「2 内容」の(1)のア 与えられた条件に合わせて、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。 ● 「2 内容」の(1)のウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。また、発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりする。 ● 「2 内容」の(2)のア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら話すこと 	112-117 ページ	6 時間
<p>Lesson 3 : Presentation プレゼンテーションのモデル英文やプレゼンテーションに使われる表現などを示した。 プレゼンテーションの原稿作成、実施、質疑応答、評価を行うタスクを設けた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「2 内容」の(1)のア 与えられた条件に合わせて、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。 ● 「2 内容」の(1)のウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。また、発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりする。 ● 「2 内容」の(2)のイ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連、表現の工夫などを考えながら書くこと。また、書いた内容を読み返して推敲すること。 ● 「2 内容」の(2)のウ 発表の仕方や討論のルール、それらの活動に必要な表現などを学習し、実際に活用すること。 	118-123 ページ	8 時間
<p>Lesson 4 : Discussion ディスカッションの例やディスカッションに使われる表現を示した。 ディスカッションを行うタスクを設けた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「2 内容」の(1)のア 与えられた条件に合わせて、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。 ● 「2 内容」の(1)のウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。また、発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりする。 ● 「2 内容」の(1)のエ 多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合う。 ● 「2 内容」の(2)のウ 発表の仕方や討論のルール、それらの活動に必要な表現などを学習し、実際に活用すること。 	124-131 ページ	10 時間

<p>Lesson 5 : Debate ディベートの例やディベートに使われる表現を示した。 ディベートを行うタスクを設けた。</p> <p>Part III の Lesson 1-5 の言語活動 の設定にあたっては、学習指導要領の第3款の1の「言語の使用場面の例」および「言語の働きの例」から適宜選択して取り上げた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「2 内容」の(2)のエ 相手の立場や考えを尊重し、互いの発言を検討して自分の考えを広げるとともに、課題の解決に向けて考えを生かし合うこと。 ● 「2 内容」の(1)のア 与えられた条件に合わせて、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。 ● 「2 内容」の(1)のエ 多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合う。 ● 「2 内容」の(2)のウ 発表の仕方や討論のルール、それらの活動に必要な表現などを学習し、実際に活用すること。 ● 「2 内容」の(2)のエ 相手の立場や考えを尊重し、互いの発言を検討して自分の考えを広げるとともに、課題の解決に向けて考えを生かし合うこと。 <p>●第3款の1 [言語の使用場面]</p> <ul style="list-style-type: none"> a 特有の表現がよく使われる場面 b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面 <p>●第3款の1 [言語の働き]</p> <ul style="list-style-type: none"> a コミュニケーションを円滑にする b 気持ちを伝える c 情報を伝える d 考えや意図を伝える e 相手の行動を促す 	<p>132-139 ページ</p> <p>108-111 ページ</p> <p>112-117, 118-123, 124-131, 132-139 ページ</p> <p>108-111 ページ</p> <p>108-111 ページ</p> <p>112-117, 118-123 ページ</p> <p>112-117, 124-131, 132-139 ページ</p> <p>108-111, 112-117, 118-123, 124-131, 132-139 ページ</p>	<p>10 時間</p> <p>計</p> <p>140 時間</p>
--	--	---	-------------------------------------